

平成28年度 評価調書【施策】

平成28年度評価調書（施策）

計画目標	水道水の安全の確保【安全】	整理番号	1－（1）
施策	水質管理の強化	記載頁	42－45
施策の目的	給水栓末端に至るまで水質管理の強化を図り、すべてのお客様がいつでもどこでも、安心して飲める安全な水道水をお届けします。		
【施策の進捗状況の判定】			
進展しています・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
3（100%）	—	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① 水質管理の強化	目標を達成		
② 直結給水方式への推進	目標を達成		
③ 給水装置に対する安全性の確保	目標を達成		
【各取組の実施状況】			
取組内容①	水質管理の強化 [指標:目標を達成1(50%)、概ね達成1(50%)]	記載頁	(担当課) 東金配水場
取組の概要	水質管理体制を定めた水質検査計画について最新情報を反映させた計画に更新するなど水質管理体制の強化に努めます。 また、当該計画に基づく水質検査結果等の情報をホームページを通じてお客様に提供してまいります。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 最新情報を反映した水質検査計画を策定（更新）します。 計画に基づく水質検査を行い、その結果を定期的にホームページで情報発信します。 水質異常時等の緊急時に迅速な対応が図れるよう関係機関との連絡体制の強化を図ります。 更なる水質管理の強化を図るため、厚労省が推奨する総合的な「水安全計画」の策定に向けた事前調査を実施します。 <p>[再掲]</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的知識や技術を習得できるよう職員を育成していきます。(本籍:整理番号3-(6)【持続】活力ある人材・組織づくり①人材育成と技術の承継) <p>(当初予算 3,770千円 決算(見込)額 2,610千円)</p>		
指標①	水質検査結果の公表	進捗状況	
目標値①	毎日検査の公表（月1回） 定期検査の公表（月1回） 水質基準項目（年4回）	目標を達成	
実績①	毎日検査の公表（月1回） 定期検査の公表（月1回） 水質基準項目（年4回）		

指 標②	水安全計画の策定	進捗状況	
目 標 値②	事前調査の実施	概ね目標を達成	
実 績②	事前調査の実施		
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画の策定（4月） ・水質検査結果の定期的な公表（1回／月） ・関係機関との情報伝達訓練を実施（緊急時手順の確認） ・水安全計画の策定に向けて他事業体の実施状況や計画内容等の情報収集を主とした事前調査を実施 		
要因・課題 対応策	<p>[要因・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残留塩素低下等の事象発生時に関係機関との連携不足（情報伝達の遅延）事例があった。 <p>[対応策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質異常時等の緊急時対応が円滑に行えるよう日頃から関係機関との連絡を密にして情報の共有化を図ります。 ・引き続き、水安全計画策定に向け取り組んでまいります。 		
取組内容②	直結給水方式への推進 [指標:目標を達成1(100%)]	記載頁 44	(担当課) 業務課
取組の概要	<p>貯水槽水道の利用者に対し、貯水槽の適正管理について、積極的な助言や情報提供を行ってまいります。</p> <p>また、配水管から直接、水を給水することで常に安全で衛生的な水をお使いいただける「直結給水方式」への切替など普及促進に努めてまいります。</p>		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽の所有者等に対して、貯水槽水道の適正管理についてをホームページや広報紙で周知してまいります。 ・給水申込時や既設貯水槽の窓口対応・相談時において、衛生面や維持管理が軽減できる「直結給水方式」を推奨するとともに、ホームページや広報紙を活用したPRを実施してまいります。 <p>(当初予算 0千円 決算(見込)額 0千円)</p>		
指 標①	直結給水率	進捗状況	
目 標 値①	96.4%	目標を達成	
実 績①	96.4%		
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用し、貯水槽水道の適正管理について周知しました。 ・窓口対応時にお客様へ3階建て建物への給水方式について、直結給水方式を推奨するとともにホームページ等を活用して普及促進を図りました。 		

要因・課題 対応策	〔要因・課題〕 ・貯水槽水道利用者の受水槽以下の水質・衛生面の管理が課題 〔対応策〕 ・引き続き、お客様に対し貯水槽水道の維持管理の必要性を周知するとともに、直結給水方式の普及促進を図ります。		
取組内容③	給水装置に対する安全性の確保 〔指標:目標を達成1(100%)〕	記載頁 45	(担当課) 業務課
取組の概要	給水装置の安全性を確保するため、漏水や通水不良といった給水事故を防ぐ取組を行ってまいります。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管埋設情報（管路情報システム）のデータ更新を行い管路情報の精度を向上します。 ・口径50mm以上の給水管の取扱いについては、企業団の設計指針において使用材料が定められていることから、耐震管である配水用ポリエチレン管（EF接合）、ダクタイル鋳鉄管（耐震継手）を用いて施工するよう、指定給水装置工事事業者に対し申請時から完成時までの間、管材料選定から工事施行まで徹底した管理を行います。 ・さらなる安全性への取組として、有機溶剤に対する浸潤や運搬及び施工時の外面傷等の防止策を施した管材の採用に向けた検証を行います。 <p style="text-align: center;">(当初予算 0千円 決算(見込)額 0千円)</p>		
指 標①	給水管の事故割合（件／1000件）	進捗状況	
目 標 値①	4. 0件以下	目標を達成	
実 績①	4. 0件		
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・管路情報システムのデータ更新（随時） ・給水装置の安全性を確保するため指定給水装置工事事業者に対し申請時から完成時までの間、管材料の選定から施工管理について指導や検査の強化を実施 ・給水管のさらなる安全性向上の基礎資料とするため、他事業者での採用状況や製造事業者等に対する新管材に係る調査を実施 		

<p>要因・課題 対応策</p>	<p>〔要因・課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤に対する浸潤や運搬及び施工時の外面傷等の防止策を施した新管材については、全国的に採用件数が少なく施工場所も限定されており、単価も割高となっている。 <p>〔対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管路情報を常に最新のものに更新するとともに、安全性向上のための新管材について、他事業体の動向等を見据えながら、引き続き、その採用に向けた検証を行ってまいります。
----------------------	--

平成 28 年度評価調書（施策）

計 画 目 標	確実な給水の確保【強靱】	整理番号	2 - (2)
施 策	水道施設の計画的更新と維持管理	記 載 頁	46 - 52
施策の目的	水道水を将来にわたって安定的に供給できるよう配水場、配水管等の水道施設を過不足なく確保し、かつ適切に維持・管理していきます。		
【施策の進捗状況の判定】			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">進展しています</div> ・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
4 (100%)	—	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① 効率的な水運用のための水道施設の整備	目標を達成		
② 配水施設の計画的更新	目標を達成		
③ 管路施設の計画的更新	目標を達成		
④ 管路維持管理及び漏水防止対策	目標を達成		
【各取組の実施状況】			
取組内容①	効率的な水運用のための水道施設の整備 [指標: 目標を達成 1(100%)]	記載頁 46	(担当課) 施設課
取組の概要	将来の水需要に合わせた配水施設の統廃合や配水管のダウンサイジング等を検討・実施することで、効率的な水運用を図るとともに災害に強い水道施設を構築します。		
当年度取組目標	[再掲] ・給水区域内における配水場の全体的な効率的な水運用を検討し、配水場の計画的な整備・更新を進めていきます。(取組内容 2 参照) [再掲] ・配水管の耐震化及びダウンサイジングを実施 (取組内容 3 参照) (当初予算 0 千円 決算 (見込) 額 0 千円)		
指 標①	配水施設の統廃合・配水管のダウンサイジングの検討・実施	進捗状況 目標を達成	
目 標 値①	配水施設の統廃合・配水管のダウンサイジングの検討・実施		
実 績①	配水施設の統廃合・配水管のダウンサイジングの検討・実施		

当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾配水場3号配水池の築造に向けた事前調査を実施（平成29年度松尾配水場3号配水池築造工事の詳細設計を当初予算に計上した。） ・基幹管路等の配水管の耐震化及びダウンサイジング（横6号幹線について口径350mmから口径300mmにダウンサイジング）を実施 		
要因・課題 対応策	〔要因・課題〕 〔対応策〕		
取組内容②	配水施設の計画的更新 〔指標：目標を達成1(100%)〕	記載頁 47	(担当課) 施設課 東金配水場
取組の概要	給水区域内における配水場の全体的な効率的な水運用を検討し、配水場の計画的な整備・更新を進めていきます。		
当年度取組目標	【配水場の整備・耐震化】 <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域（山武市・横芝光町）の災害時においても安定した給水を確保するため、地震動レベル2の耐震性能を有する松尾配水場3号配水池の築造の検討を進めていきます。 ・大網配水場電気・ポンプ室棟の耐震補強に向けた取組として、耐震補強工事の設計業務を実施します。 【配水施設の改修・更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している配水施設について計画的に改修・更新等を実施します。 <p style="text-align: center;">（当初予算 304,560千円 決算（見込）額 300,564千円）</p>		
指 標①	配水池耐震施設率	進捗状況	
目 標 値①	69.9%	目標を達成	
実 績①	69.9%		
当年度実施状況	【配水場の整備・耐震化】 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時においても安定した給水を確保するため、地震動レベル2の耐震性能を有する松尾配水場3号配水池の築造について事前調査を実施（平成29年度松尾配水場3号配水池築造工事の詳細設計を当初予算に計上した。） ・大網配水場の電気・ポンプ室棟の耐震化に向けた取組として、耐震補強工事に係る設計業務を実施 【配水施設の改修・更新】 <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した設備の更新を計画どおり実施しました。 ・東金配水場遠方監視制御設備更新工事 ・松尾配水場電気設備更新工事 ・松尾配水場次亜塩注入設備更新工事 		

要因・課題 対応策	[今後の方針] 優先順位を決めて費用の平準化を図りながら、延命を主体とした計画的な改修や点検整備を実施していきます。		
取組内容③	管路施設の計画的更新 [指標:目標を達成 3(60%)、概ね達成 2(40%)]	記載頁 49	(担当課) 施設課
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹管路（口径 350mm以上の配水管）について、今後想定される大規模地震等の被害を最小限に抑えるため「基幹管路配水管耐震化計画」に基づき順次耐震管に更新していきます。 ・ 災害時に避難所となる学校や主要病院等の重要給水施設への配水管について、震災による被害を最小限に抑えるため「重要給水施設配水管耐震化計画」に基づき、耐震化を進めていきます。 ・ 耐用年数を迎える老朽管について、漏水が多発する路線や赤水が発生しやすい路線等の優先度を検討した上で、布設替えを実施していきます。 ・ 国道横断部や軌道横断部等の特殊形態管路についても、優先順位を定め計画的に耐震化を図っていきます。 		
当年度取組目標	<p>【基幹管路配水管耐震化事業】 基幹管路を対象とした耐震化工事を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配水管改良工事：口径φ300 L=1,202.6m <p>【重要給水施設配水管耐震化事業】 重要給水施設を対象とした耐震化工事を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配水管改良工事：口径φ100～φ450 L=1,650.9m <p>【老朽管更新事業】 老朽管更新対象として、漏水が多発している路線を対象とした更新工事を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配水管改良工事 L=515.2m <p>【特殊形態管路更新事業】 特殊形態管路（軌道横断管）を対象とした更新工事を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配水管更生工事 L=47.7m <p>(当初予算 500,213 千円 決算(見込)額 396,570 千円)</p>		
指標①	基幹管路の耐震適合率	進捗状況	
目標値①	55.1%	概ね目標を達成	
実績①	55.0%		

指 標②	管路の耐震化率	進捗状況
目 標 値②	11.0%	目標を達成
実 績②	11.3%	
指 標③	経年化管路率	進捗状況
目 標 値③	9.8%	目標を達成
実 績③	9.8%	
指 標④	管路の更新率	進捗状況
目 標 値④	0.37%	概ね目標を達成
実 績④	0.32%	
指 標⑤	有収率	進捗状況
目 標 値⑤	90.4%	目標を達成
実 績⑤	90.7%	
当年度実施状況	<p>【基幹管路配水管耐震化事業】</p> <p>1 東金市東金地先配水管改良工事<横6号幹線第1工区> 口径φ300 L=399.9m</p> <p>2 東金市台方地先配水管改良工事<横6号幹線第2工区> 口径φ300 L=525.3m</p> <p>3 東金市台方地先配水管改良工事<横6号幹線第3工区> 口径φ300 L=188.5m</p> <p>・施工条件の制約（他企業管の移設措置等）により一部の区間が翌年度以降の施工となったことから予定数量が減少（-92.4m）</p> <p>【重要給水施設配水管耐震化事業】</p> <p>1 東金市季美の森地先配水管改良工事 口径φ250～φ450 L=132.6m （東千葉メディカルセンターへの供給路線）</p> <p>2 山武市成東地先配水管改良工事 口径φ150 L=528.8m （山武医療センターへの供給路線）</p> <p>3 横芝光町横芝地先配水管改良工事 口径φ100 L=514.1m （横芝小学校への供給路線）</p> <p>4 横芝光町新島地先配水管改良工事 口径φ100 L=478.7m （上塚小学校への供給路線）</p> <p>5 東金市東新宿地先不断水仕切弁設置工事 （東葉クリニックへの供給路線）</p> <p>6 大網白里市大網地先舗装本復旧工事 （国保大網病院及び大網東小学校への供給路線）</p> <p>【老朽管更新事業】</p> <p>山武市成東地先配水管改良工事 L=517.2m</p> <p>【特殊形態管路更新事業】</p> <p>1 東金市西福俵地先配水管更生工事<縦2号幹線></p> <p>・地下水対策の再検討の実施等が必要となったため、平成29年度まで工期を延長</p>	

要因・課題 対応策	[要因・課題] ・特殊形態管路の更生工事の施工において、現地状況により地下水水位対策等の再検討が必要となる事例があった。 [対応策] ・施工計画において、現地状況（地勢、埋設物調査）の詳細把握及び道路管理者等への照会、照査を確実に実施する。		
取組内容④	管路の維持管理及び漏水防止対策 [指標:目標を達成 1(100%)]	記載頁 52	(担当課) 維持課
取組の概要	配水管の健全性を維持し漏水事故の発生を防ぐため、定期的な保守点検や管路パトロールを実施します。		
当年度取組目標	配水管の定期的な保守・点検及び管路パトロール等を実施するとともに、特に老朽化が著しい地区の漏水調査を委託により実施する。 ・配水管漏水調査業務委託<東金地区> L=366 km (当初予算 12,023 千円 決算(見込)額 3,531 千円)		
指 標①	有収率	進捗状況	
目 標 値①	90.4%	目標を達成	
実 績①	90.7%		
当年度実施状況	・定期的な管路パトロールの実施 ・跨道橋添架管の点検（4回） ・外部電源装置（軌道横断管電気防食）点検実施（4回） ・配水管漏水調査業務委託<東金地区>を実施		
要因・課題 対応策	[今後の方針] 引き続き、外部委託等も活用しながら定期的な漏水調査を実施します。		

平成28年度評価調書（施策）

計画目標	確実な給水の確保【強靱】	整理番号	2－（3）
施策	総合的な危機管理	記載頁	53－55
施策の目的	災害等の非常時においても、ライフラインである水道を機能させるための取組を強化していきます。		
【施策の進捗状況の判定】			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">進展しています</div> ・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
2（100%）	—	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① 災害対策計画と活動マニュアルの運用管理	目標を達成		
② 漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携	目標を達成		
【各取組の実施状況】			
取組内容①	災害対策計画と活動マニュアルの運用管理 〔指標：目標を達成1(100%)〕	記載頁 53	(担当課) 総務課
取組の概要	災害対策実施計画及び活動マニュアルの的確な整備により、非常時における迅速かつ的確な応急給水・応急復旧体制の強化を図ります。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時において、応急給水・応急復旧作業等を迅速かつ確実に実施するため、災害対策実施計画及び活動マニュアルの適切な見直しを行います。 ・災害対策実施計画及び活動マニュアルに基づく訓練を実施し、災害時における職員の危機管理意識の向上や迅速な応急給水・応急復旧活動を行うための体制の確保に努めます。 (当初予算 0千円 決算(見込)額 0千円)		
指標①	災害対策の取組強化	進捗状況	
目標値①	災害対策訓練の実施 1回以上	目標を達成	
実績①	災害対策訓練の実施 2回		
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策実施計画及び活動マニュアルについて、平成28年度の組織体制に合わせて改定 ・情報伝達訓練（4月）及び総合的な災害対策訓練（11月）を実施 		
要因・課題 対応策	[今後の方針] <ul style="list-style-type: none"> ・災害時においてもお客様に迅速に水道水をお届けできる体制が確保できるよう、引き続き、災害対策実施計画及び活動マニュアルを的確に整備するとともに災害等を想定した訓練を継続してまいります。 		

取組内容②	漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携 〔指標: 目標を達成4(100%)〕	記載頁 54	(担当課) 総務課 施設課 維持課 東金配水場
取組の概要	<p>漏水事故が発生した場合、迅速な復旧が行えるよう緊急時に備えた体制の強化を図ってまいります。</p> <p>また、災害時における各種協定を締結し、関係機関との相互協力体制を構築するとともに、復旧体制及び資器材の供給体制の強化を図ってまいります。</p>		
当年度取組目標	<p>【漏水事故の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漏水事故が発生した場合において、漏水修理を委託する業者と連携を図り、迅速な修理対応を行います。 <p>【災害時における連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体との協定に基づく災害訓練等を実施します。 <p>【災害時に必要となる緊急資材及び応急給水のための資器材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害用備蓄資材の備蓄基準数量を保持するため、非常用給水袋の本年度購入（備蓄）予定数を1,600枚とします。 <p>【災害時における拠点給水所の確保及び耐震性貯水槽等の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲料水兼用耐震性貯水槽設置要綱を策定し、維持管理の適正化を図るとともに、今後の設置協議に向けて、構成市町への本貯水槽に係る情報提供及び候補地調査を行います。 <p>【渇水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 渇水時における諸活動が的確に行えるよう渇水対策計画の見直しを行います。 <p>(当初予算 20,617 千円 決算 (見込) 額 18,394 千円)</p>		
指 標①	拠点給水密度 (箇所/100km ²)	進捗状況	
目 標 値①	1.3 箇所	目標を達成	
実 績①	1.3 箇所		
指 標②	可搬ポリタンク・ポリバック保有度(個/1000人)	進捗状況	
目 標 値②	33.3 個	目標を達成	
実 績②	36.2 個		
指 標③	車載用給水タンク保有度(m ³ /1000人)	進捗状況	
目 標 値③	0.13 m ³	目標を達成	
実 績③	0.13 m ³		
指 標④	給水車保有度 (台/1000人)	進捗状況	
目 標 値④	0.012 台	目標を達成	
実 績④	0.012 台		

<p>当年度実施状況</p>	<p>【漏水事故の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の復旧体制として、漏水修理業者が常時5地区で待機する体制を業務委託により確保し、迅速な修理対応を実施（公道漏水修理162件、宅内漏水修理201件） <p>【災害時における連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県内水道災害相互応援協定」に係る九十九里ブロック情報伝達訓練及び応急給水訓練の実施（10月） ・日本水道協会南関東ブロック合同防災訓練の実施（1月） ・「災害時における応急作業等の協力に関する協定」に係る山武管工事業協同組合との無線通信試験を実施（1回／月） ・現協定締結事業者の基本情報調査を実施（29者） <p>【災害時に必要となる緊急資材及び応急給水のための資器材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資器材の補充として、非常用給水袋1,600枚を購入 <p>【災害時における拠点給水所の確保及び耐震性貯水槽等の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「飲料水兼用耐震性貯水槽設置要綱」の策定 ・耐震性貯水槽の設置に向けて構成市町への情報提供及び設置候補地調査を実施 <p>【渴水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渴水対策計画（取水制限及び給水制限時の各制限率による具体的な対応）について見直しを行いました。 ・平成28年度版「渴水等緊急時バルブ操作計画書」の策定
<p>要因・課題 対応策</p>	<p>〔要因・課題・対応策〕</p> <p>耐震性貯水槽の設置には多額の費用を要することから、国庫補助制度を活用した設置方法等の情報提供を行いながら、引き続き構成市町と設置に向けた協議を行ってまいります。</p>

平成28年度評価調書（施策）

計画目標	供給体制の持続性の確保【持続】	整理番号	3-（4）
施策	お客様サービスの充実	記載頁	56-57
施策の目的	お客様サービスの充実に図るとともに水道事業全般にわたる情報をホームページ等を通じて提供し、水道に対する理解促進に努めてまいります。		
【施策の進捗状況の判定】			
進展しています・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
—	1（100%）	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① お客様サービスの向上		目標を概ね達成した	
【各取組の実施状況】			
取組内容①	お客様サービスの向上 〔指標：目標を達成1(50%)、 目標に届かなかった1(50%)〕	記載頁 56	（担当課） 業務課 維持課 企画財政課
取組の概要	お客様への迅速な対応や円滑かつ適正な業務の実施など、お客様サービスを向上するための取組を推進します。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> お客様サービスの向上を図るため、委託業者と定期的にミーティングを実施し、お客様への適切な対応及び適正な業務が遂行できるよう指導・監督を行います。 新たな料金収納形態（大手都市銀行での取扱等）の検討を行うため、お客様からの要望を把握します。 山武水道公式ホームページや広報紙を活用したお客様への情報発信や、参加型広報活動の水道出前講座による水道事業のPRを実施します。 <p>（当初予算 996千円 決算（見込）額 854千円）</p>		
指標①	口座振替割合・自主納付割合	進捗状況	
目標値①	74.7%・25.3%	目標に届かなかった	
実績①	73.1%・26.9%		
指標②	普及率	進捗状況	
目標値②	93.0%	目標を達成	
実績②	93.1%		

<p>当年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様サービスの向上を図るため、窓口業務に関する委託業者と定期的にミーティングを行い、指導・監督を実施しました。 ・お客様センター等を通じた、水道料金のお支払に関する要望状況について把握を行いました。 ・水道事業全般について、ホームページ及び広報紙の発行等による広報活動を実施しました。 ・参加型の広報活動として小学校4年生を対象とした水道出前講座を実施しました。 <p style="margin-left: 40px;"> 広報紙発行部数 10月 53,800部 3月 54,900部 ホームページ アクセス件数 約4万件 水道出前講座 小学4年生対象 (382人) </p>
<p>要因・課題 対応策</p>	<p>[要因・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様サービスの向上策として、自主納付の利便性を図るため、コンビニでの取り扱いといった収納取扱機関の拡大を図ることができた反面、口座振替の利用率が低下傾向にあります。 <p>[対応策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、便利で確実な口座振替による支払いについて、広報紙等を活用し、推進していきます。また、新たな料金収納形態（大手都市銀行での取扱等）についても、お客様からの要望や他水道事業体の状況等も把握しながら検討してまいります。

平成28年度評価調書（施策）

計画目標	供給体制の持続性の確保【持続】	整理番号	3 - (5)
施策	経営の健全化及び効率化	記載頁	58 - 62
施策の目的	水道事業を取り巻く経営環境は大きく変化し、厳しさが増していることから、経営の健全化及び効率化を推進し、将来にわたり持続可能な水道事業を目指します。		
【施策の進捗状況の判定】			
進展しています・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
5 (100%)	—	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① 将来需要の動向に即した水道料金制度の検討	目標を達成		
② 経営基盤の強化	目標を達成		
③ 組織体制の強化	目標を達成		
④ 統合・広域化の検討	目標を達成		
⑤ 運営委員会の有効活用	目標を達成		
【各取組の実施状況】			
取組内容①	将来需要の動向に即した水道料金制度の検討 [指標:目標を達成 4(100%)]	記載頁 58	(担当課) 企画財政課
取組の概要	最新の水需要予測等を財政収支に反映し、的確に将来予測を見込むことで安定した事業運営について検討を行います。		
当年度取組目標	<p>・水需要予測については、最新の実績値により分析を行うことで、現状を把握し、財政収支見通しを検討します。</p> <p>[再掲] 統合・広域化の検討</p> <p>・現在検討が進められている県内水道の統合・広域化について九十九里地域の末端水道事業体が事業統合することで経営の安定化が図られるか検討を行ってまいります。 (取組内容 4 参照)</p> <p>(当初予算 0千円 決算(見込)額 0千円)</p>		

指 標①	給水原価	進捗状況
目 標 値①	267.82円	目標を達成
実 績①	264.60円	
指 標②	供給単価	進捗状況
目 標 値②	232.24円	目標を達成
実 績②	232.39円	
指 標③	1箇月当たり家庭用料金：10m ³	進捗状況
目 標 値③	2,041円	目標を達成
実 績③	2,041円	
指 標④	1箇月当たり家庭用料金：20m ³	進捗状況
目 標 値④	4,228円	目標を達成
実 績④	4,228円	
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・水需要予測については、国立社会保障人口問題研究所の将来推計を活用し算定しました。（本プランにおける水需要予測に対し大幅な乖離はありませんでした。） ・最新の水需要予測では、給水収益は減少するが、より一層の経費削減を行うことで現行の水道料金制度を維持できる見通し。 	
要因・課題 対応策	<p>[要因・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により給水量が減少傾向にある。 <p>[対応策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水人口の減少は避けられない状況にあるため、より精度の高い水需要予測を行うとともに、収入と支出のバランスを確認しながら持続可能な財政運営に努めてまいります。 	

【各取組の実施状況】			
取組内容②	経営基盤の強化 [指標:目標を達成1(100%)]	記載頁 60	(担当課) 総務課 業務課 施設課 企画財政課 東金配水場
取組の概要	アセットマネジメント手法も活用しつつ、中長期的な視点に立った効率的・効果的な水道施設の管理運営を行うことで、経営の健全化を図ってまいります。		

当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントを活用し、資産管理の精度向上を図ります。 ・民間事業者を活用した水道施設の各種運営の効率化を目指し、委託範囲の拡大を検討します。 ・各システムを最新のデータに更新し充実させることで事業運営の効率化を図ります。 <p>(当初予算 141,211 千円 決算(見込)額 139,886 千円)</p>	
指 標①	アセットマネジメント管理	進捗状況
目 標 値①	アセットマネジメントの実践	目標を達成
実 績①	アセットマネジメントの実践	
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理については、最新の基礎データを整理し、新たにアセットマネジメントを実施することで、管理水準の向上を図りました。 ・委託範囲の拡大について、水質検査業務の全面委託化に向けた検討を実施しました。(平成 29 年度から全面委託化) ・工事計画や窓口業務等を迅速に行えるよう管路情報や給水工事の各システムについて現地調査等に基づきデータを更新しました。 	
要因・課題 対応策	<p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント(資産管理)等の継続的な実施により事業運営の効率化を図り、健全な水道を確実に次世代へ引き継いでまいります。 	

【各取組の実施状況】			
取組内容③	組織体制の強化 [指標:目標を達成 1(100%)]	記載頁 61	(担当課) 総務課
取組の概要	人的資源の最適化を追求し、定員及び組織を見直し最適化に努め、水道事業の運営基盤の強化を図っていきます。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・定員管理計画に基づき、新規採用職員を確保するとともに県派遣職員の増員を要望してまいります。 <p>(当初予算 502,184 千円 決算(見込)額 491,360 千円)</p>		
指 標①	職員数	進捗状況	
目 標 値①	56名	目標を達成	
実 績①	56名(うち再任用職員2名)		
当年度実施状況	新規採用職員 4名(事務1名・技術3名) 再任用職員 2名(事務2名)		

要因・課題 対応策	<p>[要因・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の定年退職が続くことから新規採用職員を確保していく必要があります。 <p>[対応策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県派遣及び再任用制度を活用するとともに効率的な組織体制を検討し定員の適正化に努めます。また、学校訪問や職場見学会の実施により山武水道をPRし、採用試験受験者の増加に努めます。
--------------	---

【各取組の実施状況】			
取組内容④	統合・広域化の検討 [指標:目標を達成 3(100%)]	記載頁 62	(担当課) 企画財政課
取組の概要	九十九里地域の末端給水事業体が事業統合することで経営の健全化が図れるか検討を行ってまいります。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末端給水事業体の事業統合の検討に必要となる、各事業体の経営・施設状況等の基本情報の調査を実施します。 <p>(当初予算 10,000 千円 決算(見込)額 9,072 千円)</p>		
指 標①	給水原価	進捗状況	
目 標 値①	267.82円	目標を達成	
実 績①	264.60円		
指 標②	供給単価	進捗状況	
目 標 値②	232.24円	目標を達成	
実 績②	232.39円		
指 標③	営業収支比率	進捗状況	
目 標 値③	82.3%	目標を達成	
実 績③	83.1%		
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九十九里地域末端給水事業体の統合・広域化の検討として、各末端水道事業体の経営及び施設等の状況を把握し、人口減少や経年化に伴う施設更新の課題等を整理するための基礎調査を実施しました。 		
要因・課題 対応策	<p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が進めている用水供給事業体の統合・広域化に係るリーディングケースの協議状況を注視しながら、引き続き、九十九里地域の末端給水事業体の事業統合について検討を行ってまいります。 		

【各取組の実施状況】

取組内容⑤	運営委員会の有効活用 〔指標：目標を達成 1(100%)〕	記載頁 62	(担当課) 企画財政課
取組の概要	水道事業の各種計画の進捗状況や評価、決算等を運営委員会に諮り、委員である有識者や水道利用者などの意見や助言を事業運営に反映させていきます。		
当年度取組目標	有識者や水道利用者などの意見を事業運営に反映させるため運営委員会を開催します。 (当初予算 50 千円 決算(見込)額 40 千円)		
指 標①	運営委員会の開催	進捗状況	
目 標 値①	年 1 回開催	目標を達成	
実 績①	年 1 回開催		
当年度実施状況	<p>開 催：平成 28 年 11 月 22 日</p> <p>議 題</p> <p>(1)「山武郡市広域水道企業団地域水道ビジョン 2010 の達成度評価について」について</p> <p>(2)「平成 28 年度上半期業務状況」について</p> <p>(3)「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン 2016」について</p>		
要因・課題 対応策	<p>〔今後の方針〕</p> <p>定期的に運営委員会を開催し委員（有識者・水道利用者）から意見や助言を頂き事業運営に反映いたします。</p>		

平成28年度評価調書（施策）

計画目標	供給体制の持続性の確保【持続】	整理番号	3 - (6)
施策	活力ある人材・組織づくり	記載頁	63
施策の目的	専門知識と高い技術力を持つ職員を確保・育成することで、水道事業を持続するために必要な危機管理能力や職務遂行能力の維持・向上に努めてまいります。		
【施策の進捗状況の判定】			
進展しています・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
1 (100%)	—	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① 人材育成と技術の継承		目標を達成	
【各取組の実施状況】			
取組内容①	人材育成と技術の継承 [指標: 目標を達成 4(80%) 目標に届いていない 1(20%)]	記載頁 63	(担当課) 総務課
取組の概要	水道事業に必要な専門的知識及び職員資質の向上を図るため、積極的に研修会に職員を派遣します。また、熟練職員の持つ高い技術力等を若手職員に継承し、人材育成に努めます。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識の習得及び資質の向上のため各種研修会に職員を派遣します。 県に研修生として職員を派遣し、資質の向上を図ります。 熟練職員からの技術承継に努めるとともに、次世代を担う職員に資格取得を奨励します。 <p>(当初予算 816千円 決算(見込)額 462千円)</p>		
指標①	職員資格取得度	進捗状況	
目標値①	1. 82件/人	目標を達成	
実績①	1. 84件/人		
指標②	外部研修時間	進捗状況	
目標値②	6. 7時間	目標を達成	
実績②	13. 6時間		
指標③	内部研修時間	進捗状況	
目標値③	1. 5時間	目標を達成	
実績③	2. 8時間		

指 標④	技術職員率	進捗状況
目 標 値④	49.1%	目標に届いていない
実 績④	48.2%	
指 標⑤	水道業務経験年数度	進捗状況
目 標 値⑤	22.1年/人	目標を達成
実 績⑤	22.4年/人	
当年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・山武郡市広域行政組合、千葉県自治研修センター及び日本水道協会等が実施する各種研修会への職員派遣の実施 ・県に研修生として職員を派遣し、資質の向上を図りました。 ・次世代を担う職員に資格取得を奨励しました。(第1種電気工事士等) 	
要因・課題 対応策	<p>[課題・要因]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術職員率について、熟練職員の定年退職が続くことから、技術職の新規採用職員を確保していく必要があります。 <p>[対応策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や職場見学会の実施により山武水道をPRし、採用試験受験者の増加に努めます。 	

平成28年度評価調書（施策）

計画目標	供給体制の持続性の確保【持続】	整理番号	3 - (7)
施策	環境に配慮した事業運営の推進	記載頁	64
施策の目的	省エネルギー対策を促進することで、環境負荷の低減に努めます。		
【施策の進捗状況の判定】			
進展しています・概ね進展しています・一部の進展にとどまっています			
目標を達成した取組数	目標を概ね達成した取組数	目標に届かなかった取組数	
1 (100%)	—	—	
【施策実現のための各取組内容の進捗状況】			
① 省エネルギーと環境保全対策		目標を達成	
【各取組の実施状況】			
取組内容①	省エネルギーと環境保全対策 [指標:目標を達成2(100%)]	記載頁 64	(担当課) 総務課 施設課 東金配水場
取組の概要	配水方法や配水管工事等の工法を創意工夫することにより、省エネルギー対策及び建設副産物の減量化を図り、環境負荷を低減していきます。		
当年度取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 合理的な配水方法を採用することにより、省エネルギー化を推進します。 浅層埋設工法を適用し、工事で発生する土砂の減量化を図るとともに、作業の効率化による工期短縮により建設機械からのCO₂発生量を削減します。 デマンド監視装置によりエネルギー使用量を適切に把握し、契約最大消費電力の現状維持に努めます。 <p>(当初予算 0千円 決算(見込)額 0千円)</p>		
指標①	配水量1m ³ 当たり電力消費量	進捗状況	
目標値①	0.05kWh/m ³	目標を達成	
実績①	0.039kWh/m ³		
指標②	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	進捗状況	
目標値②	0.2MJ/m ³	目標を達成	
実績②	0.139MJ/m ³		

<p>当年度実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見ヶ丘団地への給水を東金配水場高区系からの給水に切り替え、専用給水施設（ポンプ場等）を停止することで、配水方法の合理化・省エネルギー化を実施しました。 ・発注工事全てに浅層埋設工法を適用し、掘削土砂の減量及び工期短縮と併せ、建設機械から発生するCO₂を削減しました。 ・庁舎事務局における省エネルギー対策として、デマンド監視装置により使用電力を管理調整しながら、休憩時間等の消灯、ノー残業デー及びクールビズの実施により、照明及び冷暖房設備の節電に取り組みました。
<p>要因・課題 対応策</p>	<p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、環境負荷の低減に努めてまいります。